

## Ⅱ. 結果の要約

### 1. 出生数は減少

出生数は7,424人で、前年の7,460人より36人減少した。  
出生率（人口千対）は7.6で、前年の7.5を上回った。  
合計特殊出生率は1.53で、前年の1.49を上回った。

### 2. 死亡数は増加

死亡数は12,435人で、前年の12,310人より125人増加した。  
死亡率（人口千対）は12.7で前年の12.4を上回った。  
死因別に見ると、死因順位の第1位は悪性新生物、第2位は心疾患、第3位は肺炎であり、全死亡者に占める割合は、それぞれ27.3%、17.7%、10.6%となっている。

### 3. 自然増減数は減少

出生数と死亡数の差である自然増減数は-5,011人で、前年の-4,850人より161人減少した。  
自然増減率（人口千対）は-5.1で前年の-4.9を下回った。  
平成10年以降は、毎年死亡数が出生数を上回っている。

### 4. 死産数は減少

死産数は159胎で、前年の162胎より3胎減少した。  
死産率（出産千対）は21.0で、前年の21.3を下回った。

### 5. 婚姻件数は増加

婚姻件数は4,664組で、前年の4,601組より63組増加した。  
婚姻率（人口千対）は4.7で、前年の4.6を上回った。

### 6. 離婚件数は増加

離婚件数は1,959組で、前年の1,890組より69組増加した。  
離婚率（人口千対）は1.99で前年の1.91を上回った。